



志岐高便り

第143号

発行責任者
山口 千樹



携帯
サイトへ

長崎県立志岐高等学校

[TEL]0920-47-0081

長崎県志岐市郷ノ浦町片原触88

[HP] <http://www2.news.ed.jp/section/iki-h/>

巻頭言

かんなんなんじ

「艱難汝を玉にす」

教頭 野村 雄大



過ぎ去る9月は行事の月。煌雪祭に始まり、後期自治委員任命、そして今は定期考査の真っ最中。公務員試験・就職試験がスタートしたのも、9月でした。

○煌雪祭、見応えがありました。体育祭では、各ブロック長や3年生を中心に、応援や行進はもちろん、長縄跳びなどの競技も一所懸命に練習していました。「みんなで踊りを揃えたい」「他のブロックに負けたくない」「優勝したい!」・・・そのためにどうすれば良いのか知恵を絞り、試行錯誤し、そして本番に臨んでいました。文化祭では、実行委員や各クラスが「おもしろい出し物をしたい」「みんなを楽しませたい」「感動させたい!」・・・そのために何をするのかアイデアを出し合い、工夫を重ね、そして本番に臨んでいました。何かをやるうとする中で、うまくいくこともあれば失敗することもあるし、勝ちがあれば負けもあります。すべてがうまくいくことなんて無いけれど、その一つひとつのプロセスが、人を成長させます。

○自治委員選出。校長先生が常におっしゃるように「志岐高校は君達のもの」です。自治委員が中心となり、自分達の学校をさらに良くするために知恵を絞り、アイデアを出し合っていて欲しい。提案が退けられることも、もちろんあるでしょう。しかし自分達で考え、模索し、提案することに意義があり、君達を成長させます。

○定期考査。この世に「試験」というものが無くなれば、どんなにいいか・・・でも、定期考査が無かったら、みんなはまともに勉強しますか?。人って一定の負荷が無ければ、なかなか勉強しないものです。考査の日程が明確で、試験範囲もわかるから、「ああ勉強しなければ!」と思うし、計画的に取り組む生徒もいれば、お尻に火がついたように勉強する生徒もいるわけです。大なり小なり勉強することで、自分自身を磨き成長させているのです。

○そして高校生にとって最大の「試験」といえば、進路を決める試験です。公務員試験、就職試験、そして大学入学試験。この試験を突破するために「どうしたら単語を覚えられるか」「どうしたら内容を理解できるか」、そして「どうしたら勉強したことを試験で発揮できるか」などを模索し、試行錯誤し、工夫を重ねるわけです。3年生はこの大きな壁を乗り越えるために、歯を食いしばって自分を磨いている真っ最中。受験を通して、高校生は間違いなく大きく成長します。逃げずに頑張れ、3年生!

かんなんなんじ

「**艱難** 汝を玉にす」という言葉があります。人生には様々な艱難、すなわち困難や苦勞・

ひる

壁が立ちほだかります。しかしそれに怯まず、失敗を恐れず、挑戦し続けることで、自らを「玉」にする、すなわち人間性を高めることができる、ということです。来る10月は、平成29年度の後半戦スタートの月。志岐高生一人ひとりが考え、行動し、挑戦する中で成長していく後半戦であって欲しいと願います。

第 3 学 年 よ り

「僕らは別々の山を それぞれの高さ目指して
息もつかずに登ってゆく 山びと達のようなね」
(さだまさし「道化師のソネット」より)

これぞ現在の3年生にあてはまる比喻だな、と最近よく感じています。この曲は1980年2月のリリースで、生徒より私(本村)より長く生きていながらも、少しも色あせない普遍性があります。この曲を吉岐の地で、しかもご本人の生歌で聴く機会があったのです。平成26年5月10日、看護の日in吉岐の記念講演(公演)でした。琴線に触れる豊かな詞の世界観と澄み切った歌声に、私も「息を継ぐ」のを忘れんばかりでした。全体の詞は70回生の現状とは異なりますが、引用させていただいた箇所は、まさにこれだ！という感じです。

体育祭や文化祭が終わった今、共通の目標は希望進路の実現に他なりません。しかし、希望する進路は千差万別。登っている山はみんな違うし、それぞれの目指す高さもバラバラ。これから各々の進路決定に直面し、成功する者もあれば、失敗する者も出るかもしれない。しかし、成功の反対は失敗ではない。挑戦しないことだ。成功するために必要な失敗はある。失敗を恐れず成功するための努力を積み重ねて初めて、学年スローガンの「自己変革」は訪れるのだ。

70回生、我を忘れてただひたすらに、それぞれの高みを目指し自分の山を登ろう。力を尽きた者には、「いつか真実(ほんとう)に笑いながら話せる日が来るから」。

進 路 指 導 部 よ り

吉岐高生が大きく成長する「勉強の秋」がやってきました。

1年生は文系・理系の最終決定があり、今後はそれぞれの目標に向かって学問研究や職業研究を行います。

2年生は対外実力テストが初めて5教科で実施されます。理科や地歴を含む総合力を測る「学力の全国大会」です。吉岐高生の誇りをかけて臨みましょう。

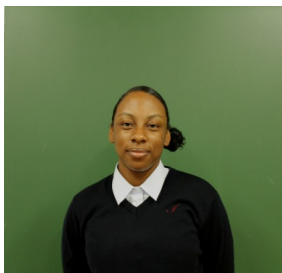
3年生は、就職試験や公務員試験だけでなく、大学等推薦・AO入試出願も始まりました。また、来年1月に実施される大学入試センター試験の出願準備も行っています。センター試験は、国公立大学への進学に必要なだけでなく、多くの私立大学入試においても利用できる試験です。得意科目はもちろんのこと、苦手科目に対する学習姿勢が問われるため、まさにこれまでの学びの集大成と言えます。「受験勉強は団体戦」を合言葉に70回生全員で団結し、進路実現に力強く立ち向かっていきましょう。



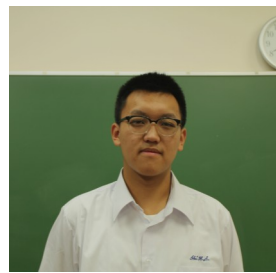
～ようこそ吉岐高校へ～

9月から吉岐高校に新しく2名の留学生が加わりました！

1-1
アマラチ・ワブダ
さん
出身
カンザス州
趣味
ベースギター



1-2
梁天楽 君
出身
中国 河北省 唐山
趣味
バスケット
ワンピース (アニメ)



壱岐高Topics!

10月行事予定

①1年 ②2年 ③3年

「後期自治委員任命式」

9月20日(水)後期自治委員任命式がおこなわれました。これから半年、新たな役職で壱岐高校や学級の運営に尽力してもらいます。生徒の主体性が生きる壱岐高校がまた一歩前進します!

「三年生激励会」

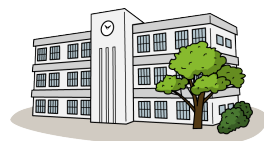
9月20日(水)生徒会による三年生激励会がありました。今まで1・2年生を引っ張ってくれた3年生。これから本格的に自らの進路実現を目標に力を発揮しなければならぬときです。苦しい時もあると思いますが頑張ってください!



「男子やりなげ九州大会出場!」

先日行われた長崎県高等学校新入体育大会陸上競技 男子やりなげにおいて2年2組山本潤さんが3位になり、九州大会に出場することになりました。九州大会は10月14日に沖縄県で行われます。さらなる活躍を期待しています!

1	日	
2	月	中間考査①②③
3	火	中間考査①②③
4	水	後期専門委員会
5	木	センター試験100日前集会③
6	金	第2回英検一次
7	土	★①②③ 小論模試③
8	日	
9	月	【体育の日】
10	火	校内駅伝前健康診断
11	水	いじめ悩み調査
12	木	LHR(人権同和教育)
13	金	
14	土	進研記述模試③ 刈入祭(コース) 壱岐なみらい7'03'外(本校にて)
15	日	進研記述模試③
16	月	6校時LHR(防災避難訓練)
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	ウルトラマラソン
22	日	
23	月	校内駅伝大会係打ち合わせ
24	火	
25	水	
26	木	LHR (高総体駅伝推戴式・校内駅伝大会開会式)
27	金	校内駅伝大会
28	土	進研実カテスト(3教科)①(5教科)②★③
29	日	進研実カテスト(5教科)②
30	月	
31	火	



体育祭

9月2日(土)今年で5回目となる杵岐高校と虹の原特別支援学校杵岐分校高等部との合同体育祭が開催されました。今年は晴天に恵まれ多くの方々に来ていただきました。今年は「魅せる」をテーマに各ブロックが、創意工夫を凝らしたダンスや衣装で観客を魅了しました。結果は、ブロック応援の部はAブロックが受賞しましたが、パネルの部、行進



の部、そして総合優勝をCブロックが独占しました。

3年生は最後の体育祭ということもあり、短い期間にもかかわらず、大変熱い指導で一生懸命1・2年生を引っ張ってくれました。この経験を糧にそれぞれの進路に向けて頑張ってください。またそんな3年生の姿を見た1・2年生の来年の活躍も楽しみです。



煌雪祭2017



文化祭

9月9日(土)、杵岐高校と虹の原特別支援学校杵岐分校高等部との合同文化祭が開催されました。

文化祭には、「生徒の主体性・積極性を育む」という目的があります。今年は、約80名の生徒で構成する文化祭実行委員会が、文化祭の運営を行い、実行委員会の委員長である豊増夢羽さん(2年2組)のもと、生徒の手による文化祭が実現しました。

今年のテーマは、「凜〜つなぐ伝統、越える想像」でした。出演団体の展示・ステージ発表は、短い準備期間であったにもかかわらず、創意工夫が凝らされており、見ごたえがあるものでした。

来年度に向けて、生徒会総務委員会の中に文化祭準備委員会という組織を立ち上げ、来年度の主体である1年生が早速活動を開始しています。来年度はさらにより良い文化祭になるよう期待しています。

